



針金 勝彦
(平政会)

明るく笑顔で暮らせるまちづくりを

質問 子供たちが犠牲となる事件、事故が多発する中、行政として、学校や地域で活躍している方々と一丸となって、子供たちを見守る環境を築き上げてほしいと思うが、今現在、どのような指導、支援を行っているのか。

答弁 各小学校では、学校安全ボランティアをスクールガードとして組織化を進めている。不審者情報は、教育委員会が取りまとめ、各小学校を通じてスクールガードに伝えるよう連絡網の整備を進めている。県教育委員会では、6月9日にスクールガードリーダー2人を配置し、各小学校のスクールガードと連携し、地域ぐるみの学校安全体制の確保に取り組んでいくことになる。また、市教育委員会では、市内を巡回する郵便配達車やタクシーに子供たちの見守り、緊急時の通報や情報提供、

保護を要請しているほか、各小学校では、避難場所等を記載した地域安全マップを作成している。

超高齢者社会への

行政としての対応は

質問 超高齢社会を迎えている現在、高齢者の生きがいとしてその能力を発揮するための場所や情報を提供することが必要ではないか。また、就業環境についても、もっと積極的に取り組むべきと思うがどうか。

答弁 老人クラブなど自主的な団体の活動等に対し支援をしているほか、高齢者の活動の場づくりに努めており、市の広報、ホームページ、地元新聞や各組織を通じて周知を図っている。今後も、多くの市民の自主的な主体的な参画のもとに高齢者が生きがいをもって活動する社会の実現に努めていく。就業環境では、高齢者の就業問題のほか若年層の雇用の場の確保などの課題を抱えており、より多くの市民が安定して働ける職場が確保できるよう雇用の創出に努めていく。

針金議員のその他の質問事項

・総合窓口開設後の職員の意識変化と利用者の反響について



武田 正廣
(創風会)

新市総合計画

質問 市総合計画策定に向けたスケジュールと基本的な考え方についてお知らせ下さい。また、それを上位計画とする種々の計画について、変更等要するが、その概略と、能代東インターチェンジ付近の開発構想について。

答弁 総合計画は、市の最上位計画として長期的展望に基づいてまちづくりの方向性を示すもの。将来的な財政見通しの中で、行財政改革を推進しながら、限られた財源を有効活用する。策定過程から、市民の参画を得、実行した成果を定期的に点検、評価できるものにしていく。また、スケジュールについては、平成19年度中に策定し、20年度スタートの計画にしたい。個別計画については、総合計画との整合性を確保していきたい。能代東インターチェンジ周辺の土地利用については慎重に検討する。

能代市生活排水

処理構想について

質問 良好な生活環境を獲得し公共用水域の水質保全に寄与する生活排水処理施設の整備は行政の大きな役割の一つと考える。能代地区と二ツ井地区の整備の現状と見通し、また新処理計画の早期策定と全市排水処理施設の早期完成について。

答弁 能代地区の公共下水道事業は全体計画に対し、33・4%の整備率で完成まで相当期間を要し、農業集落排水事業は9・9%の整備率で今後の事業実施地区は未定。浄化槽設置整備事業の整備率は能代地区65・5%、二ツ井地区は27・5%で、達成見込みはそれぞれ平成24年度ころと平成45年度ころである。新たな「生活排水処理整備構想」の策定は、財政見直しや国等の動向を見据え、地域の形態や実情に即した最適で効率的な整備手法を取り入れ、整備期間の短期化を念頭に置いて策定に当たりたい。

武田議員のその他の質問事項

・食育の推進と地産地消について
・少子化対策について